

奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民投句

小中学生の部



令和七年三月度 入賞句一覧

投句数 千九 句

特選

星野 勝 選

てつぼうでひつくりかえるさくらのき

大垣市

松本 じゅんき（小四）

どの学校にもある桜の木。「さくら」は春の季語ですね。鉄棒を軸にして体を回転させる  
と、目に映る景色も回転して見えますね。ちようど頭のてつぺんが下向きになつたとき、映る  
景色も天と地がひっくり返っているように見えます。作者にはその時桜の木が目映つたので  
しょうね。ひよつとすると桜吹雪が舞い上がつて見えていたかもしれない。ふだんの生活の  
中で発見した一コマを十七音にうまくまとめました。

初桜あおぐ大空まつさおに

大垣市

桑原 璃名（小五）

作者は満開の桜の木をながめていたのですね。そしてその視点を次第に上へと向けていく  
と、桜の背景に真つ青な空が広がっていることに気づきました。作者が見た情景を読者も想像  
することが出来ます。周りの様子は読者の経験によつて異なるかもしれませんが、桜と青空の  
コントラストが鮮やかに脳裏に浮かんできます。近いところから視点をスタートして、広がり  
をもたせていくことで俳句の景にも広がりが生れました。

手をつなぎトコトコあるく一年生

大垣市

谷 実咲（小五）

大きなランドセルを背負つて、おぼつかない足取りで歩く一年生。となりで優しく声をかけ  
ながら歩く作者。新学期の温かな光景が目につかびます。「トコトコ」のように、様子を表す  
言葉を擬態語（ぎたいご）といいます。一年生の子たちにとつて学校までの道のりは、遠く感  
じることでしょう。小さな歩幅で歩く様子を見事に表現する「トコトコ」が、この句を生かし  
ています。なんとも温かく微笑ましい光景です。

秀逸

中学校母校に変わる卒業式

加茂郡川辺町

白村 友莉（中三）

君の頬桜の花と同じ色

加茂郡川辺町

武田 菜々美（中三）

雪溶けの街はどんより寂しくて

加茂郡川辺町

岡安 心優（中三）

ひなまつりいつかはじゆうにひとえきる

大垣市

えがわ いちか（小一）

てつぼうのだるままわりでさくらみる

大垣市

おしたに なつき（小二）

新しいくつとノートで新学期

大垣市

松原 樹杏（小三）

おには外豆投げかえすおにの父

大垣市

二村 そうた（小三）

チョコレートあまくて苦いバレンタイン

大垣市

山田 ひまり（小四）

ゆきだるまとけゆくかおになみだあり

大垣市

山の内 諒（小四）

しゃぼんだまかぜにのつたよふわふわと

大垣市

小ぐら せいじろう（小二）

## 入選

先輩の背中を見つめた卒業式

大木の下に並んだ雪うさぎ

走り出す桜の舞にはげまされ

窓をあけかすかに匂う木の芽風

雪の夜スノードームが現実

着ぶくれし向かう近所の自習室

たのしいなばあとかぎるひなまつり

春の雪とけて青空あらわれる

ひなまつりおだいりさまがいなかった

まいあがる心おちつけクラスがえ

さくら咲き人が集まり笑顔咲く

さくらの木はなをおとしてらくになる

春風に身も心をもなげだして

あかい鼻ゆきだるまとねおそろいだ

いきおいがとてもすごいぞ雪すべり

はるのふくこのふくにしよいいかんじ

かざぐるまくるくるまわるめがまわる

さくらもちおべんとうの中はいってる

ともだちとはるかぜにのるブランコで

ピクニックサンドイッチのぐがもれた

加茂郡川辺町

長谷部 唯（中二）

加茂郡川辺町

藤井 香帆（中二）

加茂郡川辺町

藤井 咲多（中二）

加茂郡川辺町

可兒 優一（中三）

加茂郡川辺町

村山 明衣里（中三）

愛知県名古屋

中野 杏（中三）

羽島市

長谷川 紗楽（四歳）

飛騨市

池田 昊生（小二）

大垣市

北村 あおい（小三）

大垣市

加納 彩愛（小四）

大垣市

堀江 りな（小五）

大垣市

かとう いおり（小五）

大垣市

柳瀬 才嬉（小五）

大垣市

田端 希美（小四）

大垣市

篠田 寅次郎（小四）

大垣市

ほりべ け生（小二）

大垣市

ふくた たいし（小二）

大垣市

木下 太貴（小二）

大垣市

原田 えみり（小三）

大垣市

まるやま ふみか（小三）

## 選者吟

のどけしや欠伸のうつる一年生

まさる

## 小中学生の部

